

産業厚生建設委員会会議録（令和6年9月12日）

出席委員 竹原委員長 安達委員 谷崎委員 尾崎委員 原委員 中川委員

欠席委員 開田副委員長

説明のため出席した者 水野市長 柿沢副市長 石川健康福祉部長 黒川産業民生部長 岩城建設部長 大村福祉課長 小川医療保健課長 横田市民課長 丸山生活環境課長 櫻井商工企画課長 永田水産観光課長 北島都市計画課長 堀建設課長 荒俣上下水道課長 川口市民健康センター所長 北野農林課主幹
職務のため出席した事務局職員 石井局長 中田局長補佐

午前10時00分開会

竹原委員長 ただいまから、令和6年9月定例会産業厚生建設委員会に付託された案件を審査するため、本日の委員会を開催いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあるとおりです。

日程第1、付託案件の審査に入ります。

まず、「陳情第1号 市内の建設産業の振興に関する陳情」についてです。陳情の趣旨等につきましては、お手元の陳情文書表のとおりであります。

それでは、陳情第1号について、当局の見解、意見をお聞かせください。

岩城建設部長 それでは、市内の建設産業の振興に関する陳情の5項目について申し上げます。

陳情1、公共事業関係予算の積極的な確保についてであります。

本市では、限られた財源で住民福祉の向上に努めながら、公共施設や道路、河川などのインフラの長寿命化や更新などに必要な予算を確保するとともに、SDGsや脱炭素社会の実現に向けて、照明のLED化なども計画的に進めているところであります。

今後も市民の安全・安心な生活を守るため、公共事業に必要な予算の積極的な確保に努めてまいります。

陳情2、公共工事発注の平準化による通年施工の確保についてであります。

年度当初からの予算執行を徹底するとともに、工期が1年に満たない工事についての繰越明許費や債務負担行為の活用についても検討し、公共工事発注の平準化に努めてま

います。

陳情 3、市内企業への優先発注についてであります。

本市発注の土木工事、管工事、電気工事、樹木等管理業務の各業種におきまして、条件付一般競争入札では入札参加資格の地域要件を設け、また指名競争入札においても地域性に配慮した業者選定を行っており、引き続き地元経済の活性化に努めてまいります。

次に陳情 4、設計積算の実勢価格の採用と適正な工期の設定についてであります。

設計積算に当たりましては、市場における実勢価格の把握に努め、また工期設定につきましても、週休 2 日制に対応した工期の設定に努めてまいります。

陳情 5、市内企業育成のための入札契約制度の見直しについてであります。

入札における発注基準につきまして、近年、物価高騰により設計価格が上昇していることなどから、見直しを考えております。また、総合評価方式において、企業の地域性、社会性としまして、地域要件や災害協定への参加、除雪業務の受託業者を評価項目としております。これらに加え、SDGs やエコアクション 21 の認証制度等の導入も検討してまいります。

以上でございます。

竹原委員長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明について質疑に入ります。質疑のある委員の方は挙手を願います。

原委員 今ほど、説明を受けたわけですが、私、この陳情に対して、建設業協同組合、それから管工事、造園業、電設業、こういった各協会、組合がまとめて出されるというのは初めて見るわけなんですよね。

こういうまとまった陳情というのは、どういうふうに捉えられておるのか。それぞれ今説明がありましたけど、入札に対してどうなるか、皆さん方の不安というか、そういうものも入っているかなというふうには感じるわけですが、市としては、どういうふうな、これまで、こういうふうにまとまった陳情というものを受けたことがあるのかどうか、まずお聞かせ願いたい。

水野市長 今ほど原委員がおっしゃいますように、今回こういう、まとまった陳情というのは初めてだと思っております。

これも、特にといいますと、建設業関連のこういうところでの人手不足というものが如実に表れているのが現状かなど。そういう意味で、商工会議所の建設部会の常議員も

少なくなっている。その辺りも含めて、商工会議所も一緒になって建設業を応援したいというか、こういう陳情に賛同して、会頭の名前も列記されているものと理解しております。

人手不足はこの業界だけではないですけども、これだけ物価高騰している中、人員もいない、そして働き方改革で工期の設定等様々な問題が時代の変化とともに訪れてきている。そういう情勢も重なった上での、今回のこういう、皆さんまとまったの陳情だと思っております。

これに対して、今部長のほうから言いましたように、個々の項目に関しては、そういった形で真摯に受け止めさせていただいて、できるところからやっていく。そういう思いで、今回、回答をさせていただこうと思っております。

原委員 昔から愛市購買というのは、質問でも出ておるように、地元の業者さんが元気でおってもらわないと、いろんところで、そういうような反応が出てくる。特に除雪とか工事の進め方についてもそうなんですけど、やっぱりそこで私が耳にするのは、設計積算の価格の見直しとか、そういうのがどれぐらいの頻度で進められておるのか。

5番目の入札契約制度の見直しについては、これはそのランクづけなもんだから、あまりあれなんですけども、やっぱり頻度を高くして実勢価格の見直しというのも進めていかんと、業者さんが苦勞するだけじゃないかなと思うがですけど、これについてはどうですか。

岩城建設部長 設計積算に当たっての価格についてですけど、今市で採用といいますか、使っている労務・資材単価につきましては、原則、県と同様の労務・資材単価と言われているものを使っておりまして、県発注工事と一緒に価格を採用しております。

見直しの頻度ですけど、以前は半年に1度とかだったんですけど、今ほど物価高騰等いろんな問題もありまして、月に大体1回の頻度で改定は県のほうでされ、それを市のほうにも提供されますので、それを使って、適正な価格と判断して、実勢価格に近いものとして設計積算のほうを進めております。

また、制度の見直しにつきましては、今ほども回答の中で少し申し上げましたけど、やはり物価高騰等もあることから、既存の、今市のほうでは業者さんをAクラスからランクづけをさせていただいているところですけど、そのランクごとに対応できる設計額が決まっております、その設計額の見直しについて検討していきたいというふうにお答えさせていただいております。

原委員 今回の設計額の見直しを含めて、建設業界でいくと大手さんが1社廃業ということで、これからやっぱり大きな仕事になってくると限られてくると思うので、A・B・Cランクぐらいの発注の仕方も何か考えてやってほしいと思うがです。

もう一つ、最後なんですけど、指名の件で、協力雇用主会というのがあるので、その中に入ると指名の点数も加算されるということは、県ではやっておるがみたいです。

滑川市がはそれを多分やっていないと思うので、犯罪してきた人を雇用して、仕事も覚えさせる。そういった企業が登録制で富山県内ではあるがです。それに入ると入札の点数が少しアップされるということを聞いたので、ぜひそういった協力雇用主会に入っておる業者さんをまたピックアップいただいて、チェックしてやっていただければと思います。

水野市長 ありがとうございます。

その協力雇用主会の会社、今市内に8社あるのを知っています。本当に犯罪を一回犯して更生しようとする人たち、保護司を介して協力雇用主会というものが組織されているのを聞いていますし、分かっていますので、その辺り、入札等のそういう点数に配慮できるかどうか、それは今ちょっと前向きに検討をさせていただくこうと思います。

原委員 お願いします。

竹原委員長 そのほか、ございませんか。

ございませんね。

(質疑する者なし)

竹原委員長 ほかに意見はないようでございますので、以上で質疑を終わります。

この採決方法について、各委員のご意見を伺いたいと思います。

採決方法は、採択か不採択の2択、もしくは趣旨採択を選択肢に含める方法があります。

今回の陳情につきましては、採択か不採択の2択で採決することにしたいと思いますけども、よろしいでしょうか。

(異議なし)

竹原委員長 それでは、採決方法については、採択か不採択の2択といたします。

これより、陳情第1号に対する討論を行います。

討論を希望される方は挙手を願います。

(討論する者なし)

竹原委員長 ございませぬね。

これにて、討論を終結いたします。

それでは、「市内の建設産業の振興に関する陳情」を採択することに賛成の委員の挙手をお願いいたします。

〔賛成者挙手〕

竹原委員長 賛成全員でございます。よって、陳情第1号については採択すべきものと決定いたしました。

午前10時12分議決

竹原委員長 以上で陳情第1号の審査は終了いたしました。

それでは、次に議案の審査に入ります。

議案第51号、議案第52号及び議案第56号から第59号の6議案を一括して議題といたします。

常任委員会に付託されました議案の説明については、全体委員会でのみとすることとなっております。よって、当委員会での説明はしないことといたしますが、当局から追加して説明があればお願いいたします。

(特になし)

竹原委員長 ないようでしたら、これより、まず予算関係の議案の質疑に入ります。

議案第51号及び議案第52号の質疑に入ります。質疑のある委員、追加で説明を求めたい委員は、挙手の上、発言願います。

谷崎委員 51-14の上段です。積雪状況観測システムの導入なんですけど、これ、年間の経費はどれぐらいで考えておられるのか、お聞かせ願ってもいいですか。

堀建設課長 お答えします。

年間の維持管理経費としまして、モニタリングシステムの利用料と画像サーバーの利用料、あと電気代というのがありまして、今のところ、年間約34万円程度を見込んでおります。

谷崎委員 ありがとうございます。

その金額は妥当なんですか、大体妥当なんですか。

堀建設課長 既に県内であれば射水市さんとか魚津市さんも導入されていると聞いていまして、それらの実勢価格から出しているということで、おおむね妥当ではないかなとい

うふうに考えております。

竹原委員長 よろしいですか。

そのほか。

安達委員 同じくそのシステムのことでですけど、県等々へ行くと大きな画面でずっと監視しておられますよね。そういったようなシステム、当然そうだと思うんですけど、滑川市のほうも、例えば建設課のほうで画面を置いて、そこで見られるようにということになりますか。

堀建設課長 そういった大きなモニター画面で常時監視するということは、今のところ予定はないんですけども、これからこういった、多分今職員が持っているモニターから見て確認するということになります。これから、こういった管理の仕方がいいのかというのは、また委員のご指摘のあったように検討していきたいなというふうに思います。

安達委員 今スマホ等々で同じ画面が見られますので、そこら辺は心配ないのかなと思うんですけど、パトロールの削減ということもおっしゃっておったので、市民の方に特に、役所のほうへ入ってきて、そのシステムが入ったんだということが、目に見える化ができれば、あ、こんなようにやっぱり使っておるんだというのが見えるだろうし、スマホで見りゃ、それでいいねかということではなくて、やっぱり見える化も必要かなと思っておるので、また検討いただければと思います。

竹原委員長 答弁要りますか。

安達委員 いや、別にいいです。

竹原委員長 そのほか、ございますでしょうか。

尾崎委員 51-11の下段の社会福祉総務費ですけれども、これは、いわゆる定額減税の制度の調整給付金の給付する予算も入っていると思うんですね。この調整給付金の給付対象者の数は何人でしょうか。

大村福祉課長 それでは、お答えいたします。

今現在、算定した数で6,300ほどの人が該当しております。そちらの方に申込みしていただくための書類を送付いたしまして、今現在、申請していただいたり、返信いただいたりしております。

尾崎委員 いわゆる確認書というのを送って、申請してくれと。こういう制度ですね、たしか。

大村福祉課長 はい、そうです。

尾崎委員 分かりました。

竹原委員長 よろしいですか。

ほかに。

中川委員 51-11ページで防災対策費の中で、防災井戸の設置に伴って周辺を整備するというになっておりますが……

竹原委員長 中川委員、これ、昨日の総務文教消防委員会の所管になります。

中川委員 すみません。

じゃ、農地費であります、国営早月川土地改良事業の負担金が出されておるわけですが、一般の方からよく言われるのが、用水の縁ののり面に非常に草がたくさん生えている。今年は特に草が生えるということで、ぼうぼうになっておる。こういった農業用水の草刈りというのは、本当は誰がやるがですか。

竹原委員長 中川委員、草刈りの話は、今回、この国営事業早月川の案件なので、全く予算とかけ離れているので、その他事項とか、そういうときに言ってもらえませんか。

中川委員 農地費に金を出しておるがやから。

竹原委員長 いや、これは国営事業早月川の負担金なので。

中川委員 なん、ほかでもやっておるがやから。

私は、これは本当に市民が一番感じておるところやと思う。

竹原委員長 堀課長、何か言われます。

堀建設課長 一般的な話としまして、用水ののり面の草刈りは、委員おっしゃられたように、農業従事者のほうでやっていただくべきものだというふうに考えております。

中川委員 私もそう思う。思うんだけど、やはり彼らは一旦、土地改良区に相談に行っておるが。そしたら、土地改良区で、はねつけられておるが。これがおかしいんです。

これは、市としてこんだけの金を出しておるんだから、やはりそういったことも親切に対応していただくものと私は思う。

これは、やはり金を出しておる滑川市がもっと強気で進まなきゃ駄目じゃないのか。滑川市民のために、こんだけの金、一般市民のところへちゃ回っておらんがやわ。農地のために金が回っておるんだから、その辺はしっかり理解してもらわんと。

私、本当に最近これで腹が立っておるが。二、三日前もこういう話が、電話がかかってきました。

こういう話、聞いたことがあるかないかを教えていただきたい。

岩城建設部長 農業用の用排水路につきましては、原則、施設管理者は私どもじゃなくて土地改良区にはなるんですけど、土地改良区でもしその除草業務を実施するとすれば当然その費用負担は農家へ求めるような形になるものですから、原則、そこに隣接している農家の方で除草等の業務をやっていただいております。近年、大規模化といたしますか、集落営農等々に切り替わってきておりまして、なかなか草刈りのほうが、ちょっとおろそかになっているところも見受けられるものですから、そこら辺を含めて、関係者、農協さんも含めて、土地改良区も含めて、またこちらのほうからそういった対策についても要請したいというふうに思います。

竹原委員長 よろしいですか。

中川委員 ぜひとも、また。

ほかにもいっぱいあるがやけど、今日はそれだけで。

竹原委員長 そのほか、ございませんか。

安達委員 51-13ページ中段の農林水産業費、定置網漁業用作業保管施設雨漏り修繕工事ですが、これは漁港内のどこら辺の施設になりますか。

永田水産観光課長 こちらの施設につきましては、漁港、海のほうから山のほうに向けて正面に、いわゆる市場ですね、漁協の市場があるんですけども、そちらの左側の建物になります。

ここにつきましては、書いてあるとおり、漁業の作業用の網ですとか、そういった物が保管してあるとともに、ちょっと漁師さんの休憩ですとか、そういったものに使っている施設になります。

安達委員 ホタルイカを並べる、あれの左側ということ、山の左側のほうというのは。

永田水産観光課長 はい、そのとおりです。

安達委員 あそこであれば、雨漏りと言え、多分鉄筋コンクリートの建物だと思いますけど、これぐらいのお金で、今後それで維持できていくのか。金額的にそんなに高くないといいますか、施設、ばたばたの納屋みたいなものなもんだから、あそこなので。それぐらいの金額で、後、うまく維持していけるものですか。

永田水産観光課長 こちらの予算につきましては、今の補正額で300万円出しておるんですけども、実は当初のほうでも500万円の予算のほうがございます、ちょっと実は雨漏りの範囲が広がっているということで、今回少し上乘せして工事を発注するというふうに考えております。

安達委員 震災等々のことがありましたし、漁業関係もまた大変だと思いますので、しっかりとまた補修してあげてください。

以上です。

竹原委員長 そのほか、ございませんか。

(質疑する者なし)

竹原委員長 ないようでしたら、引き続き予算以外の議案についての質疑に入ります。

議案第56号から議案第59号までの質疑に入ります。質疑のある委員、追加で説明を求めたい委員は、挙手の上、発言願います。

ございませんか。

原委員 質問の中でも出ておったんですけど、例えばDVDだとか、いろんな施設の設備、こういった機械で古い物は随時新しくしていくということをぜひお願いしたいんですけど、どんなものでしょうか。

水野市長 おっしゃるように、今、公共施設を建てて大分、月日がたっているものがたくさんありますので、料金改定をして、施設の古いものから、やはり直さなきゃいけないものは直さなきゃいけない。それは、これから先、集中的に出てくるものだというふうなことを思いますので、その辺り、優先順位を立て計画しながら、できるところからやっていければなというふうには考えています。

竹原委員長 水野市長、今原委員が質問されたのは、施設自体ではなくて附属品ですね。そういった物を更新したらいいのではないかと。

その上で一つ思うのは、実際に使う方々が、この備品があればもっこの施設を使えるだとか、そういった要望も聞いて、実際、DVDプレーヤーがいいのか、プロジェクターがいいのか、既存の物をただただ入替えしていくのではなくて、使う人のニーズに合わせた備品購入についてもちょっと検討していただきたいなというふうに思っています。

水野市長 今委員長が言われたとおり、それぞれ使う方々のご意見を伺い、それは施設の管理者と利用者の対話も含めながら、その辺りのニーズも踏まえた上で順次整備を行っていきなというふうには考えてはおります。

竹原委員長 よろしいですか。

原委員 はい、お願いします。

竹原委員長 そのほか、ございませんか。

谷崎委員 ちょっとお伺いしたいんですけど、農村環境改善センターとかサン・アビですね。これってLED化はどんどん進んでいるんでしょうか。

水野市長 今言われた施設も含めて、公共施設のLED化は本年度、来年度で集中的にやる予定ですので、なっていないければ今年度、来年度中にやりますし、やっている、やっていないは今ちょっと確認はできないんですけど、公共施設はここ2年、道路の街灯についてはここ3年で全てLED化にするような形で予算づけもやって、どんどん進めていきたいと思っております。

谷崎委員 はい。

竹原委員長 よろしいですか。

そのほか、ございませんか。

中川委員 総合体育館ですが……

竹原委員長 中川委員、総合体育センターは総務文教消防委員会です。

中川委員 あ、そういうがか。

竹原委員長 ええ。農村環境改善センターとサン・アビリティーズ滑川だけが対象でございます。

中川委員 はい、はい、すみません。

竹原委員長 よろしいですか。

そのほか、ございませんか。

(質疑する者なし)

竹原委員長 ないようですので、これにて質疑を終結いたします。

続いて、付託案件に対する討論に入ります。

討論をご希望される委員の方は、お申出願います。

ございませんね。

(討論する者なし)

竹原委員長 申出がないので、討論を終結いたします。

それでは、これより、挙手により採決を行います。

議案第51号、議案第52号及び議案第56号から第59号の6議案を一括して採決を行います。

議案第51号 令和6年度滑川市一般会計補正予算(第2号)

第1表 歳入 所管部分

歳出 第3款 民生費（但し、子育て応援課所管分を除く）

第4款 衛生費

第6款 農林水産業費

第7款 商工費

第8款 土木費

第2表 債務負担行為

議案第52号 令和6年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

議案第56号 滑川市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案第57号 滑川市農村環境改善センター条例の一部を改正する条例の制定について

議案第58号 滑川市産業研修センター条例の一部を改正する条例の制定について

議案第59号 滑川市勤労身体障害者教養文化体育施設条例の一部を改正する条例の制定について

以上の案件について賛成の委員の挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

竹原委員長 賛成全員。よって、付託案件、議案第51号、議案第52号及び議案第56号から第59号の6議案については、原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

午前10時33分議決

竹原委員長 以上で付託案件の審査は終わりました。

続いて、その他ということで、日程第2、その他事項で当局のほうから何かありましたらお願いいたします。

（特になし）

竹原委員長 ありませんか。

当局のほうはないようですが、委員の方から何かありましたら。

ございませんか。

（特になし）

竹原委員長 それでは、以上で産業厚生建設委員会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

午前10時33分閉会